



おりーぶたより

今月の 行事予定

八月七日(土)
第十六回

家族親善
夏まつり



花火について

花火が最初に作られたのは、6世紀に中国で火薬が使われるようになるのとほぼ同時と言われています。今のよう楽しむためのものだけでなく、敵陣にロケット花火のようなものを打ち込んで相手を威嚇したり、日によって火事を起こしたりするために使われていたと言います。

十三世紀以降にヨーロッパに伝わり、この時代では主にイタリアで王侯貴族のために花火が作られていました。十六世紀にはイングランドで花火の技術が大きく進歩し、十七世紀にはポーランドやスウェーデンなどに花火学校が設立されたといわれています。

日本で花火が製造されるようになったのは、十六世紀以降といわれており、

一六一年に徳川家康が江戸城内で花火を見物したという記録が残されています。

それから長い歴史の中で多くの花火師の技術によってさまざまな花火が開発され、今日の花火に至っています。



健康一口メモ

～梅の薬効～

梅の酸味の主成分は、クエン酸とリンゴ酸で消化酵素の分泌を高めて、食欲増進に効果があります。

また、疲労物質の蓄積を防ぐ働きがあり、体力を養いたい時には欠かせないものと言えます。

特に、注目しておきたいのが殺菌作用、解毒作用、整腸作用です。朝に、梅干しと一緒に番茶を飲むのが良いとされるのは、胃腸の働きを活発にさせることからです。

また、梅干しを使った料理には防腐力があって食中毒の予防にもなります。

お弁当に梅干しが入っている事が多いのはこれを利用したものと考えられます。



カラオケ大会が行われました。優勝された方には賞を授与し、声を出してみんなで合唱も行いました。また、緑風会の方々がボランティアで、大正琴と日本舞踊、フラダンスを披露されました。

施設アルバム



職員紹介



齋藤 広樹さん

血液型: B型

趣味: 読書、スポーツ

抱負: 利用者の方に信頼を得られるように一日一日を大切に過ごしたいです。



大野 亜由美さん

血液型: A型

趣味: 岩盤浴、音楽鑑賞

抱負: これからもいろんな事を学び向上していきたいです。

職員からひとこと

※二人ともまじめで一生懸命に仕事され、利用者の方にとっても人気があります。